

淀川水系甲賀・湖南圏域河川整備計画（変更原案）に対するご意見・ご意見に対する県の考え方

章・節	頁	ご意見	県の考え方
3.1.1	33	<p>湖南省中央区域は、ハザードマップによると、家屋倒壊等氾濫想定区域に指定されております。その為、自助、共助、公助の観点から、洪水から命を守る避難訓練が欠かせない所があります。避難所の適切な場所の選択を始め、避難行動のマイタイムラインの立案や啓蒙活動が欠かせません。</p> <p>3/3ページに、中央区の「野洲川氾濫浸水深最大規模・標高地図」を示します。2021年に各地の電柱に浸水深を貼ることが行われました。その時、湖南省危機管理課より頂いたデータを基に作成いたしました。中央区には、3mに達する1階水没家庭が広範囲に広がっています。</p> <p>中央区は、2023年2月28日時点の人口統計は、世帯数887、人口1725人、高齢化率28.5%と少子高齢化が進んでいます。このことは、避難行動が難しい事や財産を失ったあとの再建が、甚だ難しいと言わざるを得ません。</p> <p>また、災害時に救助活動の要となる公助（消防署、東庁舎）、交通インフラ（新旧国道1号線、甲西橋、甲西大橋、JR甲西駅）、公共施設（甲西図書館、甲西文化ホール、甲西郵便局、甲西高校、甲西中学校）など重要施設の密集地です。洪水が発生した場合の自助、共助、公助の機能不全や公的被害の甚大さを勘案して、最重点事項として取り上げて頂きたいと思っております。</p> <p>野洲川の湖南省市に関連する部分、「淀川水系 甲賀・湖南圏域河川整備計画（変更原案）計画概要説明資料 令和5年3月 P63」を2/3ページ目に示し、質問させていただきます。</p> <p>本図に於いて、「整備実施区間 L=11.0km」と書いてありますが、横田橋下流の平面図と断面図は、整備実施区間の1例と考えてよろしいでしょうか？ 実施区間全体を対象としているという事でよろしいでしょうか？</p> <p>また、対策内容としては、実施例と同じく、次の点を考慮してお願いします。</p> <p>甲西橋と甲西大橋間の中央区地先野洲川堤防は、未完成であります。もともと、堤防を道路兼用にする計画であったと地域住民間では、理解しております。計画変更の為、堤防幅の狭い未完成堤防になり、破堤による洪水が想定されます。よって、現在の温暖化気候変動を考慮して、越水を防ぐ堤防の盛土及び拡幅護岸整備により、破堤を防ぎ、及び浚渫で流れを改善して頂きたいと切に願っております。</p> <p>甲西大橋の下流も、当然のことながら、浚渫や川幅の拡張をして、流れを改善することが是非とも必要です。</p> <p>尚、野洲川堤防に雨水排水用トンネルがあり、これを埋め立て、別の排水路を設けるかどうか、湖南省市と調整することも必要です。</p> <p>もし、費用対効果や公助の重要性に鑑み、優先順位を上げて、盛土護岸・浚渫工事が完成すれば、多くの市民や自治体は、感謝する事でしょう。ご検討を切にお願いします。</p> <p>※ ご意見に添付されていた図面等資料（ご意見内の 2/3ページ および 3/3ページ）については割愛させていただきます。</p>	<p>ご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>淀川水系甲賀・湖南圏域河川整備計画（変更原案）本文p33（計画概要説明資料p63と同内容）の横断面図は、整備実施区間における横断面の一例として示したものであり、実施区間全体を示しているものではありません。</p> <p>ご意見の中で具体的な場所として挙げていただいた、野洲川の甲西橋から甲西大橋の区間については、河川管理施設等構造令や技術基準等に基づき、整備内容の検討を進めてまいります。また、現在、気候変動を踏まえた治水計画の検討を行っており、その結果、手戻りの少ない整備が可能であれば、河川整備計画の見直しの検討を行ってまいります。</p> <p>甲西大橋より下流については、現在、河川整備計画に基づき、流下能力を確保して、目標流量を安全に流下させることができるように、下流より順次整備を進めているところです。なお、雨水排水用トンネルなどの既存施設については、施設管理者と調整しながら事業を進めてまいります。</p>